

令和3年度事業報告

【1】 法人

1. 理念

キリストの教えに基づき「人を愛し、助け、支える」を実践する。人を大切にし、人に感謝する。

2. 法人全体の目標

- 1) 利用者様に充足を感じていただけるように務めます。
 - チーム内の対話と協力により実践していきます。
 - 感染予防のための新しい良識により業務に取り組みます。
 - 一人一人が、目標を持ちスキルアップを目指します。
 - 整理整頓、清掃、美化に努めます。
- 2) いろいろな事の「見える化」に取り組みます。
 - 小さな「見える化」でも、やってみます。
 - 3つの「ない」(知らない・聞いて(見て)いない・関係ない)を減らすように努めます。
 - 「見える化」されたことに目を向けます。
- 3) 方法を選びながら近隣地域との交流を大切にし、地域に役立つことをおこないます
 - 「ほっと一息活動」の継続に努めます。
 - 新しいやり方の「予防教室」「秋まつり」をやり遂げます。
 - 地域の困りごとに、事業を通して役立っていきます

3. 概況

- 1) ①特養において介護重大事故が発生した。(発生日 R3. 4. 16)
事故発生防止委員会を軸に、再発を防止する仕組み、取り組みを行っている。
②新型コロナ感染の発生回避のため、稼働状況や労務面で様々な影響が生じた。
③感染予防対策を施したうえで地域貢献活動「ほっと一息」を年間7回(5地域)実施できた
・感染予防のため5月の予防教室と11月の秋まつりの開催を中止した。
・「健康寿命をのばそう いきいき体操」のDVD(30枚)を独自に作成し地域に配付した。
- 2) 労務状況
 - 採用8名(常勤6名・非常勤2名・内新卒0名)
・特養5名(介護2・看護1・相談1)、ケアハウス2名(管理栄養士・栄養士)
伊勢寺デイ1名(介護)
 - 退職10名(常勤6名、非常勤4名、内定年退職0名、内採用同年度退職1名)離職率9.8%
・特養8名(介護5・看護1・相談1・事務1)、ケアハウス2名(施設長・栄養士)
 - 上記の内人材紹介会社の利用
・特養1名(正看護師1名)、ケアハウス1名(栄養士)
- 3) 設備整備・改修
 - 特養 東棟空調設備更新工事
 - ・18年使用経過した空調設備の老朽化対応
 - ・EHPビル用マルチ31台(室外機3台)、ルームエアコン36台
 - ・令和3年度先進的省エネルギー投資促進支援事業補助金 2,505,000円を受けての事業
 - ・総事業費 32,560,000円(内消費税 2,960,000円)9年リース(108回) 325,930円/月
 - ・施工業者:東3冷機(株)三重支店(四日市市)、リース会社:三菱電機クレジット(株)
 - ・工事期間:令和3年10月18日～令和3年12月21日

4. 理事会

開催日時	協議議案	出席状況
R3.6.1(火) 13:30～14.50	第1号議案 令和2年度事業報告・決算報告の承認 第2号議案 新理事・監事候補者の推薦 第3号議案 令和3年度定時評議員会招集事項の承認 第4号議案 新評議員選任・解任委員の選任 第5号議案 新評議員候補者の推薦 第6号議案 施設長の選任の承認	理事4名 (2名欠席) 監事2名
R3.6.19(土) 15:30～15.50	第1号議案 理事長の選定	理事6名 (欠席なし) 監事2名
R4.3.22(火) 13:30～15:10	第1号議案 令和3年度補正予算案の承認 第2号議案 令和4年度事業計画案の承認 第3号議案 令和4年度予算案の承認 第4号議案 評議員交代に係る補欠候補者の承認 第5号議案 定時評議員会招集に関する承認 第6号議案 就業規則改正の承認	理事6名 (欠席なし) 監事2名

5. 評議員会

開催日時	協議議案	出席状況
R3.6.19(土) 13:30～15:15	報告事項・新評議員に関する事項・令和2年度事業報告 第1号議案 令和2年度決算書類の承認 第2号議案 新任期の理事・監事の選任	評議員7名 (1名欠席) 監事2名

6. 主な活動

実施日	内 容
R3.4.1	開設記念（勤続10年感謝状授与・役員任命辞令交付2名）
4.16	特養において重大介護事故発生（所管行政へ速報）
5.27	監事年度監査
6.1	令和3年度第1回理事会
6.19	令和3年度定時評議員会 令和3年度第2回理事会
6.23、30	職員健康診断（松阪市健診センター・検診車）97名受診
6.29	資産変更登記 1,388,715,693円 法人代表者重任登記
7.24	苦情第三者委員会（上半期）※中止（感染状況を鑑みて）
11.18	会計監査（中間）（無藤和博会計事務所）
12.16	職員の子供のためのクリスマス会中止につきプレゼント配付
12.25	クリスマス行事
R4.1.1	元旦祝賀昼食会
1.22	苦情第三者委員会（下半期）※中止（まん延防止等重点措置期間のため）
R3.4～5	春期 職員腰痛検診（宮村医院）
R3.9～10	秋期 職員腰痛検診（宮村医院）

7. 会議等

実施日	内 容
毎月1回	執行役員会議
毎月1回	管理者会議（各事業所管理者集合会議）
毎月1回	事務会議（特養施設長、在宅事業所長、特養事務主任、各事務担当、法人事務局）

【2】 特別養護老人ホーム、短期入所者生活介護

1. 職種別職員数（R4.3.31 現在）

単位：人

職 種	員 数			兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1							
介護支援専門員	1							
ケアワーカー	23	12	(11.8)		2		3	2
看護師	5							
管理栄養士	1							
生活相談員	4							
事務員	2	2	(1.8)					
作業療法士		1	(0.4)					
医師								
介助員	1	2	(0.4)					
用務員		1	(0.4)					
シルバー人材								

2. 特養利用状況、月別入退所状況（各月末人数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用者	87	84	84	84	83	88	88	90	88	87	88	89	1040	86.6
入所	0	3	2	3	6	2	2	2	2	2	1	1	25	2.1
退所	4	2	2	4	1	2	0	5	3	1	0	0	24	2.0

3. 短期入所利用状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人	39	38	34	38	32	35	33	35	42	40	33	35	434
延日数	73	81	65	73	64	76	71	68	83	83	67	74	878

4. 利用実人員（入院者を除いた数）

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
83	84	84	83	88	88	90	88	87	89	89	90	1043

5. 介護度別利用人員

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
要支援														
要介護1	1	1	1	1	1	1	1	2	3	3	4	4	23	1.9
要介護2	5	6	6	7	7	6	6	5	6	7	6	6	73	6.1
要介護3	16	16	16	15	16	19	20	20	18	17	18	17	208	17.3
要介護4	36	34	35	36	35	35	35	36	36	36	35	37	426	35.5
要介護5	29	27	26	24	24	27	26	27	25	24	25	25	309	25.8
計	87	84	84	83	83	88	88	90	88	87	88	89	1039	86.6

6. 入退居状況

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	12	死亡による	20
老人保健施設	0	在宅復帰	0
養護老人ホーム	0	長期入院	0
ケアハウス	3	他施設	3
病院	3	その他	0
短期入所継続	8		
他施設	0		

7. 利用期間状況

期間	男	女	計
1 年未満	1	4	5
1 年～3 年未満	8	27	35
3 年～5 年未満	9	24	33
5 年～10 年未満	2	11	13
10 年～15 年未満	1	2	3
15 年以上	0	3	3
計	19	79	90

8. 年齢・性別状況

	男性	女性
最高年齢	98	104
最低年齢	85	71
平均	91	91
全体平均	91	

9. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
役員会議	施設長	月 1 回
ドリーム P A 会議	施設長・課長	月 1 回
主任会議	施設長・課長・各主任	月 1 回
職員会議	全職員	月 1 回
感染症対策委員会	施設長・課長・主任・看護師	月 1 回
身体拘束廃止委員会	施設長・課長・主任・看護師	1 ヶ月に 1 回
入所判定委員会	施設長・課長・主任・看護師	随時
事故発生防止委員会	施設長・課長・主任・看護師	1 ヶ月に 1 回

10. 研修状況

《法人内研修》

開催年月日	研修テーマ等	参加職種
R2 年 2 月 1 日～ R3 年 4 年 30 日	事業所間交流研修プロジェクト	目ヶ谷介護士
8 月 18 日～20 日	事業所間交流研修プロジェクト	川合介護士
11 月 24 日～26 日	事業所間交流研修プロジェクト	尾上介護士

《施設内研修》

5 月 20 日	介護予防及び要介護度進行予防に関する研修	16 名
6 月 17 日	食中毒について	19 名
7 月 15 日	認知症及び認知症ケアに関する研修	16 名
9 月 16 日	プライバシーの保護の取り組みに関する研修	16 名
10 月 21 日	看取りについて	15 名
11 月 18 日	感染症（予防及び蔓延防止）について	15 名
1 月 20 日	緊急時の対応に関する研修	17 名
3 月 17 日	倫理及び法令遵守に関する研修 高齢者虐待防止関連法を含む虐待防止に関する研修	16 名

《スキルアップ研修》

4 月 29 日	委員会活動について	21 名
5 月 27 日	口腔ケアについて	25 名
6 月 24 日	水分・栄養ケアについて	22 名
7 月 22 日	事故発生防止について	17 名

9月23日	上半期総括・下半期に向けて	22名
10月28日	感染症について	23名
11月25日	褥瘡予防について	24名
12月23日	身体拘束廃止・高齢者虐待について	19名
1月27日	事故発生防止について	22名
3月24日	身体拘束廃止・高齢者虐待について	21名

《施設外研修》

2月24日	介護事業所における事業継続計画（BCP）について（Web）	17名
-------	-------------------------------	-----

＊新型コロナ感染防止の為、出張研修は派遣無しでした。オンラインでの研修のみ。

1 1. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	実施主体	内容	担当者
5月27日	法人監事	監事監査	施設長
8月31日	県集団指導	介護保険の集団監査	課長
11月1日	情報公開制度	インターネットにて情報公開	施設長

1 2. 苦情受付等の状況

受付年月日	苦情申立者	内容
6月1日	関係者	＊1 配慮がなかった患部の写真について。
7月12日	利用者	ショート利用時の対応について。ひと言声をかけることを怠り、利用者の精神面に影響が及ぼしてしまった。
7月23日 8月2日	家族	ショート利用中のけがをした後の対応と虐待の疑いについて
8月26日	利用者	ショート利用中に左足太ももに赤く線になる傷ができた件
10月22日	利用者	ショート利用中の移乗介助が不適切であった件
12月19日	利用者	入居者様に不適切な発言。

＊1 湿疹が全身に広がり、経過観察を行うため、看護師が写真を撮影しました。お腹周りから鼠径部に湿疹があったため、局部も隠さずに撮影をしました。治療と経過をみるために撮影をしましたが、撮影場所や局部を隠すなどの配慮を怠りました。皮膚状態の経過をみるためという意識の中で、撮影をしたということでありましたが、配慮に欠けた対応でした。今後は、プライバシーや人権に配慮した対応を徹底します。

＊ 利用者様への対応についても、ひと言声をかけることを怠ったため、利用者様の精神状態に影響を及ぼしました。他の申し立てについても、職員が配慮をすれば、違う結果になっていたかもしれません。職員の介護技術だけでなく、心への配慮へもレベルアップしていくよう努めてまいります。

1 3. 事故報告

発生日	内容
4月16日	ストレッチャーからの転落があり、重大介護事故が発生
6月11日	オムツ交換を行った際に鈍い音がし、骨折にいたったケース

＊ストレッチャーで館内を移送中、転回した時にサイドレールが倒れ、入居者様を転落させてしまいました。すぐに救急搬送しご入院となりました。それから12日後にご容態が急変しご逝去されました。発生した事故の重大性をしっかりと反省し、再発防止を徹底するため、定期の器具点検、不備がみられた場合の報告、介護を実施する際の流れ等について意思統一を行いました。

＊骨折に至った入居者様への対応は、介護抵抗も強く、介護職員1人では、対応が困難な時が多いので、介護職員2人で介助するように指示していました。当日は、抵抗もありましたが、1人で大丈夫だろうという過信のためか、骨折にいたってしまいました。

1 4. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
4 月 1 日	開設記念日（行事食）	ご馳走を頂き皆さんで開設記念をお祝い。
9 月 20 日	敬老行事	お祝い膳、夏まつりで出来なかった踊りを披露。
12 月 24 日	クリスマス	昼食会にてクリスマスを祝う。
1 月 1 日	元旦昼食会	昼食会にて新年を祝う。

※今年度はコロナの為、行事は大幅縮小、中止となりました。

1 5. クラブ活動等

	書道		グループレク		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4月	中止	中止	17	64	17	64
5月	〃	〃	17	63	17	63
6月	〃	〃	17	66	17	66
7月	〃	〃	15	69	15	69
8月	〃	〃	16	66	16	66
9月	〃	〃	22	67	22	67
10 月	〃	〃	16	69	16	69
11 月	〃	〃	14	66	14	66
12 月	〃	〃	15	61	15	61
1 月	〃	〃	16	63	16	63
2 月	〃	〃	17	64	17	64
3 月	〃	〃	21	65	21	65
合計	0	0	203	783	203	783

1 6. リハビリ状況等

令和 4 年 3 月末

区分	場所	実施日	担当者	内容	人数	備考
ベッドサイドリハビリ	居室	月～金	作業療法士	機能維持訓練 環境整備	10 名	
グループリハビリ	東棟 1F フロアー	月～金	OT 補助	歌・体操 脳トレなど	60 名	ボランティア参加
OT リハビリ	機能訓練室	月～金	作業療法士	機能訓練 ADL 練習 物理療法など	22 名	個人の状態により 実施回数は異なる
音楽療法 東棟 南棟	機能訓練室	月 3 回	音楽療法士 OT 補助	歌唱・体操 楽器演奏 等	48 名	
音楽療法 中央 北棟	聖堂	月 3 回	音楽療法士 OT 補助	歌唱・楽器演奏 体操等	33 名	

1 7. 施設整備状況

《物品購入》（1 件 10 万円以上）

検収月	物 品 名	数量(単位)	税込購入費(円)	リース利用の有無
9/10	抗原検査キット	300 個	396,000	無
12/21	非常用飲料水	114 箱	219,153	無

《整備事業》

実施月	整 備 事 業 名	税込事業費(円)	リース利用の有無
8/13	北棟 19 号室エアコン水漏れ修理	434,500	無
10/12	流入槽用編鋼板蓋取り替え	159,500	無
10/23	厨房室漏電配線修繕	198,000	無
12/8	東棟天井補修工事	310,000	無
12/21	浄化槽ばっ気ブローア修理工事	206,800	無
12/28	北棟 21 号室エアコン取り付け工事	148,500	無
12/31	東棟 空調改修工事	32,560,000	有
2/4	中央棟 25 室天カセ 4 方向エアコン修繕	181,500	無

18. 事業目標に対する総括

《特別養護老人ホーム》

【目標】

1. 接遇を大切にします。言葉遣い・態度等(入居者・職員)
2. 統一した支援を行います。

1. 入居者様・利用者様が、南勢カトリック来てよかったと感じていただけるように、職員には接遇を大切にすることを伝えました。言葉掛けや態度で、相手が受け取る印象が変わってくるので、心に余裕がない時でも、そのことを意識していくように今後も努めていきます。また、職員同士も相手に配慮した態度で接するように、合わせて努めていきます。
2. 入居者様・利用者様への支援において、職員によってスキルの差があり支援内容にムラが出る時がありました。統一した支援ができなければ、入居者様、利用者様の生活や自立支援・重度化防止に影響が出てしまいます。職員のスキルアップについては、研修等を通じて、今後もアプローチを実施していきます。

《介護》

【南棟目標】

1. 褥瘡ケアに重点を置き管理栄養士、作業療法士と協力の下、栄養管理、体位交換、除圧に積極的に取り組み「褥瘡0」を目指します。
2. ターミナルケアのご利用者様には整容面、整理整頓に特に気をつけご家族様にも安心していただけるように対応します。

1. 目標である「褥瘡0人」とはいかなかったものの少ない人数で抑えられたと思います。
褥瘡が形成されても、早期に発見、対応ができたため、完治までの期間を短縮することができました。
各部署間での連携、褥瘡発生予防委員会の活動によるものが大きかったと思います。
2. ターミナルケア対応時の整容面に気をつけることは、もちろんのこと、静養室にお花を飾る、音楽をかける等のアイデアを各部署からいただき、実行することができました。
令和3年度は、7人の方の看取りをさせていただきました。

【中央棟目標】

1. 利用者様1人ひとりの支援方法を見直し、ADLの向上、維持をできるようにする。
2. レクリエーションを再開し、利用者様に楽しい日々を送っていただきます。

1. 利用者様の口腔ケア実施を重点的に取り組みました。特に口腔内が汚れやすい利用者様には、食前食後の口腔ケアを実施するなど、誤嚥性肺炎の発生予防に努めました。一時期、看取り対応も視野に入るほど食事摂取量の低下した利用者様に、ご家族様のご協力をいただきながら支援方法を検討しました。お好きなパンを持参いただき、召し上がっていただくことで、食事摂取量が上がりました。まだまだ、安定はしていませんが、状態が回復をされました。
2. 毎月、レクリエーションを4人1組、もしくは、2人1組でグループ分けをし、月2回のペースでレクリエーションを実施しました。壁面飾り作りでは、季節感を感じていただけるような作品を、また体を動かしたり、脳トレになるようなゲームを実施したり、懐かしい歌番組や映画の上映会をして、利用者様に楽しんでいただきました。

【北棟目標】

1. 入居者の方の一日一日を大切にします。
2. 棟入居者様の方、全員に必ず挨拶を出勤者は行います。
(朝:おはようございます・夕:ありがとうございました、お休みなさい)

1. 入居者様の一日一日を大切にしていくため、入居者様に対し穏やかに接し、安心して過ごしていただけるように心掛けました。入居者様も、笑顔で返事をいただいています。
2. 出勤時等には、棟入居者様にあいさつをしています。継続して行っていきたいと思います。

【東棟目標】

1. 利用者様が、より安心、安全にサービスを受けられるようにする。
また、職員が、より安心、安全にサービスを提供できるようにします。

利用者様のADLの低下や見守りが困難な事例が増加しているおり、緊急入所の対応など、1人で満床のフロアを対応することがありました。人員が充足しておらず、安心・安全なサービスを提供ができたとはいえないため、目標に対しては、未達成であります。転倒事故等もありましたが、大事に至らなかったことは、幸いです。

【看護部目標】

1. 思いやりの心を常に意識し、一人一人の声に耳を傾け寄り添います。
2. 医務室内のマニュアルを見直し統一した支援を行います。

1. 利用者様に対して、思いやりの心を常に意識し、取り組むことができました。業務が忙しい時も利用者様に寄り添うことを意識し実施することができました。
2. 既存のマニュアルを現在の人員、業務体制にあわせて、適宜、変更できるように取り組みました。新しい職員が入職した時も対応できるようにマニュアルの再確認、更新に繋ぐことできるようになりました。

【事務部目標】

1. 常に心のこもった接遇で利用者様をサポートします。
2. 各部署と連携をとり、すべての業務が円滑に進行するように努めます。

1. 施設の窓口として、ご利用者様、ご家族様に全体的には、丁寧な対応で接することができました。しかし、一部、電話対応中の職員の隣で大きな声で会話をしている時があり、電話口の相手様にご迷惑をおかけしたことがありました。今後は、目の前の方以外の方にも配慮できるように留意します。
接遇面に関しては、職種上、その場で、すぐにご利用者様の要望に応えられないことも多いのですが、ご利用者様にはすぐに対応できない旨を伝え、対象の職員に内容を伝えつなげることができたと思います。お菓子販売では、お菓子の購入を楽しみにされているご利用者様がたくさんおられます。よく購入される方は購入頻度もわかっているので、ご利用者様との人情会話などコミュニケーションを大切にし、その会話の中から、次回のご利用者様への接遇の向上に繋がるようこれからも努力していきます。
2. 回覧により情報を伝達し、個々が責任を持って、必要な情報をフィルタリングしています。個人間の連携では相手が不在で直接、手渡しができないものに関しては、必ず、メモを残して意図を伝え、情報伝達において、スムーズに行うことができたと思います。同じ部署内であってもそれぞれ担当している業務が異なるため、お互いの業務の詳しい部分まで、共通理解ができていないところがあります。事務部会議を開催し、継続して、協議の機会を持つことで、計画性をもった業務に努めていきたいと思っています。

【給食部目標】

1. おいしく、楽しく食べて、健康で長生きをめざして

1. 口腔状態チェック表にてご利用者様の口腔状態の把握に努めてきました。実践できた月は、栄養ケアマネジメントに反映しています。日頃の水分摂取量が増えるように、ご利用者様の嗜好に考慮し、提供のお茶をほうじ茶から、麦茶に変更をいたしました。以前に比べると、お茶の摂取量が増えたように思います。栄養ケアについては、介護職の方に主菜、副菜を分けて摂取記録を記入していただくかたちをとりました。摂取量、体重の記録、食事時のご利用者様の様子等をもとにフレイル予防を行ってまいります。

【相談支援部目標】

1. 稼働率の安定
2. 入院が長期にならない取り組み
3. 相談支援部業務の洗い出し

1. 長期入所に関しては、23名の退所者に対して、入所者が26名。4月～7月は、実員数83名～84名、稼働率が80%台後半で推移していました。8月以降は、87～90名で推移し、稼働率も90%台に乗りました。3月末、90床満床で終わりましたが、累計稼働率は、上期の低迷の影響もあり、未達となりました。
短期入所に関しては、ロングショートステイから長期入所への切り替えのケースが14件ありました（長期入所者数の53%がロングショートステイからの切り替え）。令和3年度は、6月～11月に80%台と稼働率は低下していましたが、新規利用や定期のご利用者様の追加利用もあり、12月以降は回復し、1月以降は、110%を超える稼働率でした。ただ、累計稼働率は、98%と目標に対しては、未達に終わりました。
2. ケアワーカー、看護師との情報の共有にて、早期の受診調整や、ご家族への連絡を行えたと思います。令和4年度も、今まで以上にケアワーカー、看護師とのコミュニケーションをとり、より良い支援ができるように関わりを持ちますが、まずは、『入院させない』ための取り組みが必要であると考えています。
3. 11月から、相談支援部として相談員4名、介護支援専門員1名の5名体制となりました。業務の見える化・細分化については、令和3年度はできておりません。入所者様、利用者様の状態把握、家族連絡、現場との調整を相談支援部として取り組んでいきます

【3】デイサービスセンター（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 職種別職員数

単位：人

R4年3月末現在				兼務等の状況	R3年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
事業所長	1							
介護職	5	3	(2.2)	生活相談員				
看護師	1	3	(2.0)	機能訓練指導員				
生活相談員	3							
事務員	1							
機能訓練指導員	1	3	(2.0)					
運転士		2		シルバー人材				
用務員		1		シルバー人材				

2. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	499	571	596	593	534	547	553	545	533	487	505	505	6,468	539
新規利用	1	3	2	2	2	2	0	2	1	1	3	0	27	2.25
利用中止	2	6	2	2	1	3	3	1	1	3	1	5	25	2.08

○ 利用状況についての評価・考察

稼働率70% 昨年より2%ほど低下

新規利用者数27名 登録抹消者数24名

新型コロナウイルスの影響や重度化に伴う入院の増加が大きい一年でした。

一度入院すると戻ってこれない方も多く、帰ってきてショートへの比重が増える、またはサービスをショートに切り替えるというパターンも珍しくなく、数字に大きな影響を及ぼしています。

ここ3年程登録抹消者数は高止まりしている状況なので、新規利用者数を増やすためのアクションを継続していきたい。

3. 地域別利用者分布（R4.3.31 現在）

地区名	人数
伊勢寺、岩内、美濃田	11
大阿坂、小阿坂	25
深長、八重田、曲	14
その他	20
計	70

4. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	26	26	27	26	26	26	26	24	24	24	27	307

5. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
54	57	58	54	54	54	54	54	59	57	57	60

6. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
現行相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	8	8	8	8	11	11	18	19	22	16	16	15	160	13.3	2.5
要支援2	27	23	18	18	18	16	17	18	15	20	20	21	231	19.3	3.6
要介護1	199	228	230	230	206	217	217	210	190	164	165	169	2,425	202	37.5
要介護2	134	148	158	159	137	143	138	137	125	138	134	147	1,698	141.5	26.2
要介護3	80	102	121	115	103	102	105	106	114	106	117	105	1,276	106.3	19.7
要介護4	45	57	57	58	55	53	54	51	62	36	41	41	610	50.8	9.4
要介護5	6	5	4	5	4	5	4	4	5	7	12	7	68	5.7	1.1
合計	499	571	596	593	534	547	553	545	533	487	505	505	6,468	539	100

7. 施設内研修

《交流研修プロジェクト 特養～在宅》

実施期間	研修者	担当実施日	担当事業所
2月～4月	目ヶ谷 様	2月3月は毎日 4月3.5.6.9.13.14.16.20.23.24.27.30日	デイサービス
8月	川合 様	19日	
11月	尾上央 様	24日	

※昨年度より交流プロジェクトを実施していたが、11月を最後に中止している状況です。

《自主勉強会》

研修名	開催年月	参加職員
接遇マナーについて	3/6	鍛野・前川・岡田・出口・松浦・林・目ヶ谷・山本・宮本・川本
虐待と認知症介護について	3/10	鍛野・前川・出口・奥田・林・目ヶ谷・川本
もしバナゲーム	3/12	鍛野・前川・出口・奥田・松浦・目ヶ谷・山本・川本
エゴグラム	4/1	鍛野・前川・岡田・出口・林・松浦・奥田・目ヶ谷・山本・川本
食中毒について	4/2	鍛野・前川・岡田・奥田・松浦・林・目ヶ谷・山本・川本
身体拘束・人格尊重義務違反について	4/3	前川・岡田・出口・松浦・林・目ヶ谷・山本・川本

8. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
R3年度介護保険等サービス事業者集団指導【動画視聴】	三重県健康福祉部 福祉監査課監査班	3/8まで	デイサービス	センター長
安全運転管理者研修	三重県安管協議会	3/8/4	華王殿	センター長

9. 監査・介護情報の公表調査等

受付年月日	苦情申立者	内容	担当者
R3/10	介護情報の公表	パソコンでの更新	センター長

10. ほっと一息

月日	地域	年月日	地域	年月日	地域
4/14	深長	5/8	大阿坂	6/5	八重田
7/14	深長	9/11	大阿坂	9/30	美濃田
11/10	深長	11/13	大阿坂	12/11	八重田
1/31	美濃田	3/5	八重田	3/9	深長

*コロナの影響がありましたが、毎回開催前に連絡を取り、要望のあった地区で実施しました。どの地区も一度は開催でき、2年ぶりの開催で何うと「待っていた。」という声も聞かれ、この事業の必要性を感じました。

1 1. 苦情受付状況

受付年月日	苦情申立者	内容
①R3/5/28	奥様	利用見落としの件について
②R3/7/27	奥様	リハビリパンツの対応について

○改善状況

①臨時利用が決まっていたにも関わらず、デイの確認不足の為起きた問題でした。たまたま奥様より様子確認のお電話をいただけたことでお迎えを忘れていることに気づくことができたのが救いでした。一人で動かれることがある方ですし、玄関先で待っていて下さったので本当に肝を冷やしました。慣れが出てくるとこういう問題が起きることを再認識し、繰り返しが無いよう毎日の確認を徹底するよう指示しました。

②血圧が高くて入浴ができず清拭をしたと連絡があったが、リハビリパンツが逆に履かせてもらっていた。これでは漏れるし、ぬくもりではこういった問題はなかったが、デイやセンター長には言わないでほしい。

⇒内部で事実確認を行いました。対応した職員は逆に履かせた記憶はありませんでしたが、ご家族様は実際に確認をされていますので、やはり誤って反対に介助したのではないかと考えます。本来であれば直接お会いし謝罪をするべきですが、ご家族様の希望もあり、今回はデイ内だけの情報共有としました。

12. ヒヤリハット状況

受付年月日	内容
R3/4/3	来所後すぐに便汚染されたこともあり急いで入浴したら血圧測定がまだだった。
R3/5/31	職員が誤って利用者の荷物を別のご利用者のカバンにしまって渡してしまった。
R3/6/1	機能訓練室で他利用者に話かけようと移動した際に転倒しそうになるのを職員が支えた。
R3/6/7	シャワー浴との指示があったが、誤って入浴させてしまった。
R3/6/15	ベッド上で端坐位保持ができず、左後方に倒れ後頭部をぶつけてしまった。
R3/6/16	職員が声掛けしたソファの位置からずれて座り転倒。
R3/6/18	排泄動作自立の方がトイレで転倒されていた。(先日体調不良だった申し送りあり)
R3/6/25	人のざわつきと音で振り返ると転倒。5人の職員はそれぞれ別の業務についていた。
R3/6/29	便座に一人で移乗されようとして転倒。
R3/8/6	トイレ内で別のご利用者シルバーカーに足が引っかかり転倒。
R3/8/6	レク中に椅子から立ち上がって転倒。
R3/9/8	車いすから椅子への移乗の際に転倒。
R3/9/9	窓を閉めるために一人で移動された時に転倒。
R3/9/9	入浴後に脱衣室で足を滑らせ転倒しそうになる。
R3/11/18	チェアー浴対応だったが、間違えて一般浴で入浴してしまう。
R3/12/3	爪切り中に誤って皮膚を切ってしまう。
R4/2/1	連絡袋に1月28日の内服薬が残っていた。
R4/3/26	ボイラー室の湯を出しっぱなしにしていたため、排水管数か所より蒸気が出ていた。

転倒事故が一番多かったが、近くに職員がいたために未然に防げたことも多くありました。ただ、自立されている方のトイレ内の事故については難しい問題でありこれからの課題です。

1 3. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
3/9/3	長女様	がんの末期で余命僅かと言われショートも断られたが、デイが受け入れてくれた。デイからもらった書面のおかげで緩和ケアにもスムーズに入院できた。入院前日に入浴もしてもらえ感謝しています。
3/12/1	奥様	デイで救急搬送されたが、もし自宅だったらと考えるとぞっとします。運転できない私を病院まで送迎してくれました。病院での対応も看護師さんがしてくれた。一人ならパニックになっていた。感謝しています。
4/3/7	奥様	状態低下し訪問看護よりデイにはいけないのでは？と言われたが、デイ利用させてもらった。「本人は良くしてもらった。令状を出してくれ。」と言っていた。丁寧にお世話してくれたんだと感じました。「ありがとう」

4/3/11	お嫁様	1年前までデイを利用していたが、寝たきりになった為デイケアにかえたが、その職員の対応に不満を抱くようになった。送迎時や電話、ノートへの記録などカトリックさんの対応に感銘を受けました。“ありがとう”
--------	-----	--

1 4. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	315	341	371	385	333	354	364	359	332	305	310	335	4,104

1 5. 行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
8/17～8/20	夏祭り	射的・ヨーヨー釣り・輪投げ・お菓子釣り等
9/20～9/25	敬老週間	不織布マスクのプレゼント
10/20～10/23	運動会	パン食い競争・玉入れ・お玉リレー・大玉運び等
12/22～12/25	クリスマス会	R2 年度写真鑑賞・感謝状授与・歌・ボールキャッチ

*新型コロナウイルスの影響を鑑みお花見・ミカン狩りは中止。

1 6. 施設整備状況

◇ 整備事業

実施月	整備事業名	税込事業費（円）	リースの有無
3.5	利用者トイレ小便器修理	13,090 円	無
3.6	タウンエースワイヤー修理	118,690 円	無
3.10	セレナ手すり等取り付け	266,750 円	無
4.1	灯油用歯車ポンプ取替	230,000 円	無

◇ 物品購入（1 件 10 万円以上）

検収月	物品名	税込み購入額	リースの有 無
3.5	セレナ（送迎車両）	3,890,000 円	有
3.5	タウンエース買取	227,260 円	無

1 7. 事業目標に対する総括

1. 笑顔の時間を増やします。

①話し上手より聴き上手！観察力・聴く力を高めます。

*同じ訴えを繰り返すご利用者様も増えましたが、その中でも話をゆっくり伺うことで頼っていただけの場面が増えていると感じた。

*利用者様との距離が近くなった。

*忙しそうで聞けなかったと言われることがあった。ご利用者の表情にも気を付けていきたい。

*業務に追われている時に声をかけられると“ちょっと待って”という声掛けをしている時があった。ゆとりを持って、一旦足を止めて笑顔での対応ができるように心がけていきたい。

②日々変わる感染症問題に迅速・柔軟に対応します。

*アルコール消毒、マスク着用、距離を取って座っていただくなど常に声をかけて対応することができた。

*本当に日々変わっていくことを実感する一年でした。基本的な考えは理解出来ていても、応用を必要とされる場面が多く上手く対応ができなかった。

③ありがとうメッセージをもらえる事業所 NO.1 を目指します。

*数は多くはなかったかもしれませんが、心に残るありがとうメッセージをたくさん頂きました。救急搬送時の対応や余命僅かな方への支援等、南勢カトリックならではの対応ができた。

④2 か月に一度の清掃活動を継続します。

*決められた清掃活動以外でごみを拾ったり草をひいたり小さいことかもしれませんが、日々の清掃や環境美化への意識へと繋げていくことができました。

2. 安心・信頼のデイサービスを作ります。

①感染症への正しい理解を持ち、情報共有や情報公開を適切に行います。

*対応が遅くなる部分はありませんでしたが、きちんと情報を出し、前もって連絡を入れることを心掛けた部分で、ご丁寧にあーりがとうという声もたくさんいただきました。

②あーりがとうメッセージを一覧にし、高いモチベーションが維持できる環境を整えます。

*皆で回覧することはできましたが、一覧にすることができませんでした。

③ヒヤリハットの『見える化』により事故を減らします。

*皆で話し合い確認することはできましたが、見える化への取り組みもできませんでした。

3. 地域交流の機会に積極的に参加します。

①法入行事や地区行事に積極的に参加します。

*地域の行事という点ではほっと一息以外には、秋に阿坂構造センターで展示する機会に参加することをすることができました。行事ごとへの参加は難しくなっていますが、そんな中でも初めての取り組みができたことは良かった。

②個人情報漏洩することがないように努めます。

*ご利用者が入院した時など他ご利用者からの問い合わせがあることを想定し事前に対応を確認し共通認識が持てるように取り組んだ。

*FAX をする時は2回確認してから行った。

【4】ホームヘルプサービス（訪問介護、総合事業 訪問型サービス）

1. 事業実施地域(令和 3.4.1～令和 4.3.31)

小阿坂町	9	大阿坂町	1	伊勢寺町	8	深長町	2	岩内町	3
井村町	1	桜町	1	大黒田町	2	川井町	1	美濃田	6
大津町	1	大河内町	1	鎌田町	1	殿町	1	下蛸路町	1
嬉野黒野町	1	嬉野田村町	1	嬉野津屋城町	1	嬉野平生町	1	ケアハウス	21
								合計	64

＊年間を通し 19 の地域 64 名の方々への訪問がありました。

2. 職種別職員数(令和 4.3.31 現在)

() 内人数は再掲人数

	常勤	非常勤	常勤換算	兼務状況	採用	退職
管理者	(1)			サービス提供責任者		
サービス提供責任者	2					
訪問介護員		3	(3.0)			

3. 利用状況、訪問回数

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要介護	395	399	377	402	384	386	385	407	396	396	348	455	4730
総合事業	56	57	63	83	79	72	80	71	70	61	63	73	828
乗降介助	37	34	45	26	31	34	31	38	31	26	43	29	405
初回・緊急加算	6	2	7	2	1	6	4	3	4	3	1	6	45
有償ケア	3	2	6	3	0	0	3	4	2	1	1	1	26
有償輸送	5	1	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12

＊月平均 503 回の訪問回数(R2 年度:464 回／月)

＊通院手段に困ってみえる方が多く通院乗降の登録人数が増えています。受診終了の予測がつきにくくやりくりが難しいです。

＊新規や緊急的な依頼には可能な限り対応し初回・緊急加算が 45 回ありました。

＊コロナ対策で施設入所されたケースがあり大きな影響がありました。重度の方ほど介入頻度が多く稼働率の向上に繋がりがやすい反面、利用中止になった時のリスクが大きく安定した運営の難しさを感じます。

4. 営業日数

単位:日

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
30	31	30	31	31	30	31	30	29	28	28	31	360

5. 利用実人員

単位:人

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
36	37	43	39	40	42	45	44	45	46	45	48	510

6. 要介護状況

単位:人

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援 1	3	3	4	5	6	6	6	5	5	5	4	4	56
要支援 2	5	6	7	7	6	5	6	6	6	6	6	6	72
要介護 1	7	8	8	8	9	9	11	11	12	12	12	13	120
要介護 2	6	7	7	6	7	7	9	10	9	10	9	10	97
要介護 3	2	2	4	3	4	4	5	4	5	4	5	5	47
要介護 4	6	8	6	4	4	6	6	6	6	7	6	6	71
要介護 5	4	3	5	4	3	2	2	2	1	1	2	3	32
未認定	3	0	2	2	1	3	0	0	1	1	1	1	15
合計	36	37	43	39	40	42	45	44	45	46	45	48	510

7.利用期間状況（令和 4.3.31 現在）

単位:人

期間	男	女	合計
1 年未満	4	19	23
1 年～ 3 年未満	4	12	16
3 年～ 5 年未満	3	1	4
5 年～10 年未満	1	4	5
10 年以上	0	1	1
合計	12	37	49

8. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	96	96
最低年齢	73	56
平均	83.6	84.4
全体平均	84.2	

9. 施設内研修

《交流研修プロジェクト 特養～在宅へ》

実施期間	研修者	担当実施日	担当事業所
2 月～4 月	目ヶ谷様	4 月 7 日・12 日・19 日・20 日	ヘルパー
8 月	川合様	8 月 18 日	
11 月	尾上様	11 月 25 日	

《自主研修会》

実施日	内容
R3.6.4	ビジネスマナー向上研修 ～動画視聴～
R3.8.31	ドライバーのための安全ルールの理解
R3.10.18	高齢者虐待について
R4.2.18	事例検討
R4.3.25	接遇について

10. 施設外研修

実施日	内容
R3.9	令和 3 年度集団指導自己点検表

11. 監査・介護情報の公表調査等

実施日	名称	内容	担当者
R3.12.20	介護サービスの情報の公表	パソコンで更新	角野

12. ほっと一息

実施日	実施地域	参加職員
4 月 8 日(土)	大阿坂地区	中止
4 月 14 日(水)	深長地区	中止
6 月 5 日(土)	八重田地区	神保
7 月 14 日(水)	深長地区	角野
11 月 30 日(火))	美濃田地区	角野
R4 年 3 月 5 日(土)	八重田地区	中止

*年間 6 回の参加予定がコロナで中止となり 3 回になりましたが、地域との貴重な交流の機会になりました。

13. 苦情受付状況・「ヒヤリはっと」状況

受付日	ヒヤリはっと内容
R3.4.3	入浴の際持って行った鞆を元の場所に戻し忘れた
R3.4.8	オムツ交換した後ベッドの高さを元に戻すのを忘れた
R3.4.19	枕カバーを取り付ける際破れてしまった

R3.5.12	トイレ掃除の支援中に床で尻もちをつかれた
R3.6.15	朝夕服薬する事になっているアレルギーの薬の服薬介助を忘れた
R3.7.19	車椅子で移動介助した際手がテーブルの縁に当たってしまった
R3.7.27	ケアハウスで入浴支援中に浴室のドアが閉まってしまうお尻に当たってしまった
R3.10.14	通院乗降の方の訪問を忘れておりご家族にも迷惑をかけてしまった
R3.11.19	左足装具のテープがーか所ついていない事に気付かず装着してしまった
R4.2.7	コンビニで買い物代行した際レシートを取り忘れ利用者に渡すことができなかった
R4.3.5	トイレ掃除中、布団から立ち上がろうとされた利用者が転んでしまった

＊毎年同じような内容のヒヤリハットが繰り返されている現状があります。幸いにも大きな事故やトラブルには至っていませんが苦情に繋がりがかねない事例もあり気を引き締めていかなければならないと感じます。

14. ありがとうメッセージ

受付日	申し出者	内容
R3.5.14	娘様	一か月ぶりにヘルパーさんの足浴支援を受けた日、「足見て！綺麗になったよ。とても気持ち良かった！」と久しぶりに笑顔で私の帰宅を迎えてくれた。昔は優しかった母が、一つ一つ忘れることが増え人格が変わってしまう日々ですが母の心の安定は家族の安定に繋がります。
R3.8.14	奥様	便が何度も出て四苦八苦していた際、ヘルパーさんに電話すると時間を早めてすぐに来てくれた。私だったら軟便で時間もかかり大変なところをテキパキと綺麗にしてくれ本当に助かった。やり方がわからない時は丁寧に教えてくれ安心できる存在です。

＊ヘルパーの支援が利用者様だけでなくご家族の心の支えにもなっていることにこの仕事のやりがいを感じます。今後も心に届くサービス提供ができるよう支援していきたいと思います。

15. 整備事業・物品購入

《整備事業》

実施月	整備事業	税込事業	リース利用の有無
R3.9.10	12ヶ月点検(三重 580 ね 8738)	20,460 円	無し
R3.11.18	車検(三重 880 あ 2645)	70,400 円	無し
R3.11.19	12ヶ月点検(三重 581 の 910)	7,260 円	無し

16. 事業目標に対する総括

1. チームで協力し「大切に思う気持ち」を持って支援します

＊どんな時も相手を大切に思う気持ちを持って一年間を過ごすことができました。心を込めた丁寧な言葉や態度・姿勢などに注意して関われたと思います。それでも利用者様からきつい言葉が返ってくることもありました。ヘルパー支援は一对一なのでその言葉を受け止めるには相当の心的負担がありますが、その都度ヘルパーそれぞれが気持ちを冷静に保ち気持ちを切り替えお互いに声を掛け合いながら支援できたことは評価できると思います。

＊皆が緊張感を持って感染症対策を行い健康管理に注意することで安定した事業の運営ができたことは良かったと思います。

2. 知らない・見ていない・関係ないを減らします

情報を伝達する・自ら情報収集することを意識し取り組みました。文書と口頭で伝える回数を多くし伝達漏れを防ぐよう努められたと思います。しかし伝達した情報の内容や報告には不足する部分も見受けられたため内容の精度を高めていく必要があると思います。

3. 近隣地域との交流に積極的に取り組みます

ほっと一息に参加できたのは限られたメンバーとなりましたが、地域の皆様に楽しんで頂けるよう明るい気持ちで取り組めたと思います。コロナの影響で中止せざるをえない状況が多い中、DVD作成という形での地域貢献のあり方で多くの学びがありました。

【5】居宅介護支援事業所

1. 活動区域別状況

単位:人

小阿坂町	44	伊勢寺町	37	日丘町	10	深長町	16	岩内町	7
八重田町	14	大阿坂町	21	小野町	2	美濃田町	11	野村町	2
川井町	7	嬉野町	22	大黒田町	6	本町	1	西野町	1
矢津町	3	久保町	3	藤の木町	2	塚本町	2	魚町	1
上川町	1	大津町	2	小片野町	1	鎌田町	3	笹川町	2
新町	1	船江町	2	南町	1	中央町	1	東黒部町	1
虹ヶ丘町	1	殿町	4	桜町	3	垣鼻町	2	上ノ庄	1
宝塚町	1	光町	2	大河内町	2	岡山町	1	小野江	1
田村町	1	春日町	2	内五曲町	1	山室町	2	山添町	1
阪内町	1	茅原町	1	五月町	1	井村町	1	宮町	1
出曲り	1	平成町	1	五反田町	1	中央町	1	新町	1
								ケアハウス	20

*55 町・年間 282 名の利用者さんとの関わりがありました。

2. 職種別職員数 (令和 3.3.31 現在)

単位:人

	員数			兼務
	常勤	非常勤	常勤換算	
在宅事業所長	1	0		介護支援専門員
管理者	1	0		主任介護支援専門員
介護支援専門員	4	1	(1.0)	1名主任介護支援専門員兼務

*経験豊富な平均年齢 56 歳 主任介護支援専門員が 2 名となりました。

*新しい職員採用が必須となってきた。

3. 利用状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
予防	58	60	57	62	57	56	62	62	62	62	60	64	722
介護	142	154	147	157	149	141	144	137	141	147	148	152	1759
合計	200	214	204	219	206	197	206	199	203	209	208	216	2481

*予防(事業対象も含む)平均 60 件 介護の平均 146 件となりました。昨年とほぼ横並び。

*しいて言うならば、予防が相変わらず増加傾向。

4. 要介護状況

単位:件

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援1	19	21	22	23	23	22	23	22	21	20	20	20	256
要支援2	14	14	14	17	14	14	15	15	15	17	18	20	187
事業対象	25	25	21	22	20	20	24	25	26	25	22	24	279
合計	58	60	57	62	57	56	62	62	62	62	60	64	722
要介護1	65	68	66	65	67	63	63	63	63	64	61	66	774
要介護2	34	34	35	37	36	35	33	33	33	32	36	38	416
要介護3	18	26	26	34	25	23	26	23	28	29	29	28	315
要介護4	18	20	13	14	15	14	15	14	14	18	17	16	188
要介護5	7	6	7	7	6	6	7	4	3	4	5	4	66
合計	142	154	147	157	149	141	144	137	141	147	148	152	1759

*予防:100%で達成するも、介護:96%と4%未達成となる。たかが4%されど4%で金額にすると約95万となる。

*要介護4・5の人数をキープしたいが、入所希望が多くロングスティから入所に切り替わるケースが殆どである。

*新規相談が3月追い込みで増え目標に近づける事はできた。

5. 利用期間状況 (R3.3.31 現在)

単位:人

期間	男	女	合計
1 年未満	15	25	40
1 年～ 3 年未満	15	53	68
3 年～ 5 年未満	17	44	61
5 年～10 年未満	6	28	34
10 年～15 年未満	4	7	11
15 年以上	0	2	2
合計	57	159	216

*介護保険が始まって以来の方が数名ご利用いただいております。

6. 年齢別状況

	男性	女性
最高年齢	96	110
最低年齢	56	56
平均	83.3	85.3
全体平均	84.3	

*女性の 110 歳は、松阪市での最高齢者です。

7. 相談状況

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実相談	221	217	215	263	211	230	226	200	256	197	208	203
(新規)	7	7	3	4	2	5	3	3	3	3	9	8
継続相談	379	301	313	325	346	313	311	293	291	353	138	292

*10 月あたりから新規相談が減少し年度末どうしようかと途方に暮れた時期もあったが、2 月 3 月と新規が増え目標に近い数字まで伸ばすことが出来た。

8. 相談状況

単位:件

	訪問	来所	電話	合計
モニタリング	2,158	0	27	2,158
実態把握	1169	4	575	1748
医療連携	56	0	304	360
介護者相談	406	4	554	964
サービス相談	926	10	1,044	1,980
住宅改修・福祉用具購入	1,240	4	316	1,560
虐待発見相談	4	0	6	10
成年後見・権利擁護	0	0	0	0
苦情受付・相談	6	1	3	10
書類の申請代行	183	2	44	229
その他	228	3	445	676
合計	6,376	28	3,318	9,722

9. 加算状況

単位:件

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
初回	4	12	5	8	5	3	5	2	8	3	6	7	68
予防初回	3	3	0	1	1	0	1	1	0	2	3	1	16
医療連携Ⅰ	2	7	4	2	3	6	1	5	3	1	3	6	43
医療連携Ⅱ	0	0	1	0	0	0	2	0	0	2	0	0	5
退院・退所	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	4
緊急カンファ	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
特定Ⅱ	142	154	147	157	149	141	144	137	141	147	148	152	1759

10. 施設内研修

《交流研修プロジェクト 特養～在宅へ》

実施期間	研修者	担当実施日	担当事業所
2月～4月	目ヶ谷様	4月 7日・12日・19日・20日	居宅
8月	川合様	8月 18日	
11月	尾上様	11月 25日	

＊前年度より交流研修プロジェクトを実施していたが、11月を最後に中止している状況です。

《自主研修会・在宅事業部自主研修会》

実施日	研修内容	担当
4月 3日	中止	
5月 2日	中止	
6月 5日	制度改正の伝達研修	島田
7月 3日	事例検討 在宅酸素療法を行ってみえる方への支援について	谷
8月 1日	中止	
9月 4日	ケアマネ協議会の伝達研修 アセスメントに自信が持てる！フローチャートの基礎	川北
10月 2日	事例検討会 ご本人とご家族の意向が違う事例について	谷口
11月 6日	三法人合同事例検討会 家族依存の大きい独居女性の支援について (参加者:さわやか苑 4名・なでしこ苑 6名・南勢カトリック 7名)	谷 島田
12月 4日	中止	
1月 8日	中止	
2月 5日	事例検討 独居生活を望む利用者の支援について	金児
3月 5日	事例検討 独居で認知症が進行してきている方の今後の支援について	谷

＊コロナ過で中止する事もあったが、年間を通して充実した自主研修会を行う事が出来た。

＊定例となった三法人合同の事例検討会も、心落ち着くケアハウスお御堂での開催だった。真剣に取り組みながらも、和気あいあいとした雰囲気ですべての事ができた。ケアマネージャーだけでなく、法人職員にも参加してもらい互いの資質向上に貢献できたと感じている。

11. 施設外研修

《三重県及び松阪市主催》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
10月 10日	オンライン研修 アドバンスケアプランニング(人生会議の進め方)	居宅事務所にて WEB	島田 金児

＊上記研修は日曜であった為、事務所でできたもののほぼオンライン研修となっており研修できる場所の確保が今後の課題です。

《介護支援専門員更新研修Ⅰ》

	介護支援専門員専門研修過程Ⅰ：8日間	開催場所	出席者
6月 1日	介護保険制度及び地域包括システムの現状	WEB ケアハウス	金児
6月 3日	ケアマネジメントの実践の振り返りと課題の設定		
6月 7日	ケアマネジメントに必要な医療との連携と他職種協働		
6月 14日	リハビリテーション及び福祉用具の活用		
6月 30日	認知症に関する事例	WEB めくもりの家	
7月 7日	家族への支援の視点が必要な事例	WEB	
7月 23日	状態に応じた多様なサービスの活用に関する事例	ケアハウス	
8月 20日	事例発表と振り返りを行い意見交換	WEB ケアハウス	

《介護支援専門員更新研修Ⅱ》

	介護支援専門員専門研修過程Ⅱ：5日間	開催場所	出席者
6月11日	・介護保険制度及び地域包括システムの課題 ・課題整理総括表 ・リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	WEB ケアハウス	谷口
6月21日	・看取り等における看護サービスの活用 ・認知症に関する事例		
7月21日 8月5日	・医療連携と家族支援の視点が必要な事例 ・社会資源の活用に向けた機関との連携 ・状態に応じた多様なサービスの活用	WEB ケアハウス	谷口
8月27日	・事例発表と振り返り	WEB ぬくもりの家	

《主任介護支援専門員研修》

	主任介護支援専門員研修	開催場所	出席者
12月8日	・主任介護支援専門員の役割と視点や求められる能力	WEB	谷口
12月9日	・ターミナルケア・人材育成と業務管理	ケアハウス	
12月10日	・実践における倫理的な課題に対する支援 ・運営管理におけるリスクマネジメント	WEB ぬくもりの家	
12月24日	・地域援助技術	WEB ケアハウス	
1月13日 1月14日	・事例を通して介護支援専門員に対する指導・支援の展開		
2月23日	・ケアマネジメントに必要な医療と他職種協働の実現		
3月8日 3月9日 3月10日	・対人援助者監督指導		
3月24日 3月25日	・事例を通して介護支援専門員に対する指導・支援の展開		

《介護支援専門員協会研修会》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
5月25日	松阪支部・総会 ・第1回研修会・介護報酬改定説明・新規加算等について	WEB ケアハウス	3名
6月6日	三重県協会・総会 コロナにて書面表決		6名
6月29日	支部・第2回研修会 予防プランについて		4名
7月19日	支部・第3回研修会 コロナ禍の経験より		3名
8月21日	県・アセスメントに自信が持てる・フローチャートの基礎を学ぶ		2名
9月14日	支部・第4回研修会 制度改正後で気を付けたいポイント		4名
10月26日	支部・第5回研修会 在宅医療について		3名
11月15日	支部・第6回研修会 高齢者の栄養管理と口腔管理		3名
12月14日	支部・第7回研修会 認知症の見方と関わり方		2名

《事例検討会：第一・第二・第四・第五包括支援センター》

実施日	研修内容	開催場所	出席者
第二地域包括 事例検討会			
5月18日	認知症でサ高住在住尚且つ家族が県外・・・	嬉野社会福祉センター	2名
7月15日	視覚障害でコロナによる行動制限に限界が・・・		2名
9月15日	認知症の夫が認知症の妻を看取る		1名
11月17日	家族がコロナ発症し要介護5の方の支援について		1名
1月11日	兄弟3人での老々介護で喧嘩が絶えない方の支援		2名
3月17日	パーキンソン病で家族の協力が得られない支援について		2名

＊第二包括での事例検討会は、全て参加しました。

＊3月の事例検討では、事例提供者となり当事業所の悩めるケースに沢山のご意見を頂きました。

第五地域包括 きやりああっぷ倶楽部			
6月24日	虐待の現状と関わった事例発表	花岡市民センター	2名

＊コロナ禍の影響で、第一包括・第四包括の事例検討会・研修会はありませんでした。

＊地域ケア会議もどの包括も開催される事はありませんでした。

《その他》

なし

12. 監査・介護情報の公表調査

実施日	名称	内容	担当者
12月17日	介護情報の公表	パソコン入力	島田

13. 苦情受付の状況

受付日	苦情申立者	内 容
5月28日	家族	デイ利用日なのに、連携不足にて迎えに行かなかった。
6月1日	関係者	ショート中、患部(陰部)の写真を撮り情報共有してほしいと言われ渡された。
7月12日	利用者	ショート帰宅後、もう行きたくない・・と言い食欲も無くなってしまふほどショックを受けた
7月23日 8月2日	家族	ショート帰宅後怪我をしていたが、処置の絆創膏がツギハギで傷が出ていた。 ショート予帰宅後足に内出血・腕に爪の後・皮膚が表皮剥離すると言うように続けて傷が出来、病院で虐待を受けているのではないかと問われた。
8月2日	家族	デイの帰宅後、リハビリパンツが裏表で尚且つ前後ろ逆に履いていた。ぬくもりを長い間利用していたがこんな事はなかった。
8月26日	利用者	ショート中、荒っぽいリハビリパンツの交換で大腿部に傷をつけてしまった。
10月22日	家族	ショート中、窓越し面会時に、荒っぽくベッドに寝かせ、痛み訴えと同時に苦悶の表情になった事と片手で投げるかのように寝かせた。

＊専門職としてどうなのか？と疑問に思う苦情が多かった。

＊荒っぽい介護と言うのも多く今一度介護の基本を考える事が必要だと感じた。

＊主治医に虐待を受けているのではないかと問われる事で当事者はどう感じたのか？

＊第三者委員会もコロナ過で2年行われておらず、現状を知ってもらう機会もなく過ぎている。

14. 行事 《地域支援事業・ほっと一息》

★印は、リーダー

開催地区	開催日	参加人数	講師及び参加職員
美濃田地区	9月30日(月)	中止 11月に変更	
	11月30日(水)	20名(男性 2名・女性 18名)	★安富・角野・岡田・谷・鈴居
	1月31日(月)	中止	
八重田地区	6月5日(土)	17名(男性 10名・女性 7名)	★野口・神保・谷口・奥野・浅井・建井(北川監事・・臨時参加)
	12月11日(土)	19名(男性 11名・女性 8名)	★島田・鍛野・野口・土岐・川合・目ヶ谷
	3月5日(土)	中止	
深長地区	4月14日(水)	中止	
	7月14日(水)	11名(男性 2名・女性 9名)	★角野・鍛野・川北・大釋
	11月10日(水)	13名(男性 2名・女性 11名)	★島田・木下・嶋・川本
	3月9日(水)	中止	
大阿坂地区	4月8日(土)	中止	
	9月11日(土)	中止	
	11月13日(土)	35名(男性 28名・女性 7名)	★鍛野・森上・川北・杉本・川合
川井町睦クラブ	11月19日(金)	18名(男性 4名・女性 14名)	★鍛野・黒谷・安富・島田

- *コロナ禍の影響で開催数は減ったものの感染対策を徹底し7回開催できた。
- *北川監事さんのご協力で新たに川井町睦クラブでも開催でき、参加者さんから喜びのお声を頂いた。
- *令和3年度合唱フェスティバルも開催曜日が土曜だったために不参加とするも結局はコロナにより中止となる。
- *秋祭りを予定していた11月には、介護予防DVDを作成し各地区に配布した。
- *延べ職員38名、地域住民133名の交流を持つ事が出来た。

15. 整備事業

なし

16. ありがとうメッセージ

総数	24件
法人	0件
CA委員	1件
特養	4件
デイサービス	6件
ぬくもり	5件
ヘルパー	2件
ケアハウス	2件
他の事業所	4件

- *メッセージを届けた人は、島田:15件 松葉:5件 谷:3件 金児:1件でした。
- *勿論、皆さん言葉で直接は伝えていますが、法人全体で共有する為にも文字に認めていく事が大切だと思っている。今後も面談しながら一つでも多くの『ありがとう』が届けられるように努力していきます。

17. 事業目標に対する総括

①仕事には使命感を持ち働きには喜びを感じる事業所にします。

- *計画書には本人の思いを認める努力は行った。が、それに対して利用者さんや家族さんの評価までは把握できていない。
- *自身が考える優先順位と第三者が考える優先順位・結論から話したと思っても聞き手はそうでなかった・・・と言うように、当事者と相手とに誤差があったように感じた。

②個々のケアマネとしての成長を見える化し事業所の成長に繋がります。

- *定期の情報伝達会議では、現状の実態報告のみで終わっており今後どうしていくのか？等の話し合いにまではいく事がなかった。自分の書いた伝達事項を読み上げて10分足らずで終了している。本来の伝達会議ではないように感じている。→今年度は、改善していく必要がある。
- *認知症の方の家族・終末期の家族の日々の思いが、何を求めているのかが理解できたように感じた。人の成長は経験を繰り返す事で心底寄り添えると思う。上辺だけの綺麗な言葉だけでは心には通じないと思った。ケアマネには、マニュアルは不必要と思った。

③地域と法人を繋がります。

- *法人全体で行われる予防教室や秋祭りの開催が中止となったので、居宅としての役割は激減してしまった。が、ケアマネそれぞれが地域に訪問する事で繋がりができ、新規やリピータとしてサービス利用となっている。
- *利用のない方に関しても広報誌・優・クッキー等を届け、様子観察を続けることができています。
- *監事さんのご紹介で地域外でのほっとひと息も開催する事ができ法人の広報もできたと感じている。

【6】 伊勢寺デイサービスぬくもりの家（通所介護・総合事業 第1号通所事業）

1. 職種別職員数

単位：人

R4 年 3 月末現在				兼務等の状況	R3 年度実績			
職種	員数				採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
センター長	1			生活相談員兼務				
介護職	2	3	2.6	生活相談員、調理員				
看護師		3	(1.2)	機能訓練指導員兼務				
管理栄養士								
調理員		2	0.7			1		
生活相談員	1			介護職兼務				
事務員								
機能訓練指導員		(3)	(1.2)	看護師兼務				
運転士								
() は兼務								

＊令和3年度は4月に1名入職し、それ以降は入退職がありませんでした。過去の年では入退職や異動の職員がいたので、同じ職員で支援をする事ができました。長く勤務する事で、利用者様からも信頼を得られると思いますので、長く勤めてもらえるようにしていきたいです。

2. 利用状況、月別入退所状況（各月末日数）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
延利用	437	447	442	445	434	472	486	461	428	386	386	449	5,273	439.4
新規利用	2	0	0	0	2	1	2	2	2	0	1	0	12	1.0
利用中止	1	0	0	0	0	0	0	2	1	2	2	2	10	0.8

＊9月・10月は延利用数が多く、逆に1月・2月は少ない数字になりました。12月以降は稼働率が低下し、収入も減収しました。

＊延利用者数…5,273名（R2年度より+518名）、新規利用…12名（R2年度より-4名）、利用中止…10名（R2年度より-2名）

3. 地域別利用者分布（R3.3.31現在）

地区名	人数
伊勢寺	14
大阿坂、小阿坂、美濃田	16
深長、八重田、野村、岩内、日丘	8
その他	15
計	53

＊地域別利用者分布としては、伊勢寺の方が1番多く14名の方にご利用していただきました。「あの人が行っているから…」という理由で、新規利用となる方もいました。伊勢寺の方のご利用が増えているので、今後も地域に必要とされる施設を目指していきたいと思います。

4. 営業日数

単位：日

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
26	26	26	27	26	26	26	26	25	24	24	27	309

5. 利用実人員

単位：人

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
53	53	54	52	53	56	57	57	57	54	53	53	652

6. 要介護状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	構成比 (%)
事業対象者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0.0
要支援1	9	9	9	9	8	7	7	8	8	7	8	8	97	8.1	14.9
要支援2	8	8	8	7	7	10	11	10	10	10	10	10	109	9.1	16.8
要介護1	22	21	20	20	20	21	20	22	21	21	18	19	245	20.4	37.4
要介護2	6	6	7	7	7	9	9	9	10	8	9	9	98	8.2	15.0
要介護3	6	7	7	7	7	7	7	5	5	5	5	5	73	6.1	11.2
要介護4	2	2	2	1	2	2	3	3	3	3	3	2	28	2.3	4.4
要介護5	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2	0.3
合計	53	53	54	52	53	56	57	57	57	54	53	53	658	54.3	100

*介護度別では、要介護①が多く、全体の約 37.4%を占めています。外部ケアマネからも「お元気な方なので…」と紹介をしていただく事が多くあり、施設の認知度も高まっていると感じています。軽度の方を対象としたデイサービスということを忘れずに、そのような方々を受け入れていきたいです。

7. 施設内研修

《交流研修プロジェクト 特養～在宅》

実施期間	研修者	担当実施日	担当事業所
8月	川合 様	20日	伊勢寺デイサービスぬくもりの家
11月	尾上 様	26日	伊勢寺デイサービスぬくもりの家

《自主勉強会》

研修名	開催年月日	参加職種
【自主勉強会】ビジネスマナーについて 担当：野口	5月31日（月）	野口、吉田、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】熱中症について 担当：野口	8月27日（金）	野口、吉田、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】認知症の方の対応について 担当：吉田、森上	10月26日（火）	野口、吉田、森上、木下、森本
【自主勉強会】介護記録の書き方について 担当：木下	11月19日（金）	野口、吉田、森上、木下、森本、山中
苦情第三者委員との意見交換会 コロナ感染拡大のため、中止	1月	センター長、生活相談員 （書面にて提出）
【自主勉強会】虐待について 担当：吉田、森本	2月28日（月）	野口、吉田、森上、木下、森本、山中
【自主勉強会】入浴介助について 担当：森上、山中	3月28日（月）	野口、吉田、森上、木下、森本、山中

*施設内研修としては、6回の自主勉強会を行いました。そのうちの2回（「ビジネスマナー」…老施協と「熱中症」…三重県）については、老施協と三重県が作成した映像を活用した勉強会を実施しました。今年も担当を交代で担い実施する事ができました。経験の少ない職員もいるために、今後も色々な内容を実施できればと思います。

8. 施設外研修

研修名	主催	開催年月日	開催場所	参加職種
参加なし				

*施設外研修は、コロナウイルス感染症の時期であったために参加することができませんでした。しかし今はインターネットでの研修もあるために、今後は計画していきたいです。

9. 苦情受付状況

《苦情報告》

受付日	苦情申立者	苦情内容
6月28日(月)	奥様	6/26(土)にご利用料金が未納のために声を掛ける。6/28(月)に奥様から「すでに支払っていると思うので確認してほしい」とお話しがある。しかし精算済になっていない。ケアマネにも協力していただき話しをしても、「払っていると思う」とのこと、お支払いいただけなかった。上司と相談し、今後は必ず手渡しを確認する。

＊苦情は、利用料をお支払いいただけなかった事例です。上司に相談してすぐに対応したために、利用者様と信頼関係が崩れる事はありませんでしたが、お互いに納得できる解決はできませんでした。

《ひやりはっと(事故)内容》

受付日	ひやりはっと(事故)内容
R3.9.6	めまいがあったようで、転倒する。臀部を打撲したようで、他に外傷等はなし。一人暮らしであったために、緊急でショートを利用していただく。
R3.9.16	左第5足指の爪切り後に、出血がある事に気づく。バンドエイドと軟膏で処置する。
R3.9.20	職員と利用者様の5人で会話していたところ、立ち上がった際にバランスを崩して転倒する。転倒時に両肘をついたために、他に打撲はなし。
R3.9.24	爪切り中に痛みを訴えられ、確認すると第一足指より出血がある。
R3.11.20	昼食の服薬忘れがあり、南勢カトリックデイサービスの職員より指摘がある。このことをきっかけに看護師が薬カレンダーを作成してくれる。
R3.12.6	入浴に行こうと椅子から立ち上がり、移動しようとした時に膝から崩れ落ちるように転倒する。次回ご利用時の12/8に確認すると、左膝下に内出血が来ている。
R4.2.19	隣席の方の目薬を間違えて点眼してしまう。なかや薬局さんへ相談の連絡をする。間違えたのは白内障の目薬だったので、様子を見ることとする。
R4.3.17	ご利用者様の家族が濃厚接触者となったが、皆に情報が行き渡っていなかった。そして検査を行った方が良い方へ検査ができなかった。

＊苦情は、利用料をお支払いいただけなかった事例です。上司に相談してすぐに対応したために、利用者様と信頼関係が崩れる事はありませんでしたが、お互いに納得できる解決はできませんでした。

10. ありがとうメッセージ

受付年月日	申し出者	内容
6月3日(木)	本人様	ぬくもりは、「心の安定」の場所です。友人もたくさんいますし。職員も良くしてくれるので、心が落ち着きます。
7月6日(金)	本人様	体重が減り、動くとしんどい思いがあります。その時にデイの看護師から食事のアドバイスをもらいました。食事を見直すと、以前の体調にもどりました。
8月29日(日)	本人様	仲良くしていた近所の方が亡くなり、寂しい思いをしていました。デイに行くと、職員が良くしてくれて、良い気分になります。
2月23日(水)	お嫁様	普段はパジャマのままでだらだらしているのですが、デイサービスに行く日は、朝早くから起きて、用意しています。家族ともよい距離間を保っています。

11. リハビリ実施状況

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
延人数	387	391	378	418	416	416	427	418	380	367	371	387	4,756

12. ほっと一息

実施日	場所	参加職種
6月5日(木)	八重田	センター長
11月10日(水)	深長	介護職員
11月13日(土)	大阿坂	介護職員
12月11日(土)	八重田	センター長

＊ほっとひと息には、4回参加しました。ぬくもりの家の職員はデイサービスで勤務しているという事で、体操やレクリエーションの部分を主に担当を担いました。

1 3.行事状況

実施日	行事名	内容・参加者等
8月20日(金)、21日(土)、23日(月)、24日(火)、25日(水)、26日(木)	夏まつり	綿菓子作り、ストラックアウト、輪投げ、魚釣り、スイカ割り、炭坑節
10月20日(水)、25(月)、26(火)、28(木)、29(金)、30(土)	運動会	玉入れ、借り物競争、お玉リレー、菓子食い競争など
11月29日(月)～12月4日(土)	5周年祭	●11/29『おやつ作り、箱の中身はなんだろうゲーム、写真のスライド、感謝状授与』 【時間】14:00～15:30【参加者】19名 ●11/30『おやつ作り、箱の中身はなんだろうゲーム、写真のスライド、感謝状授与』 【時間】14:00～15:30【参加者】18名 ●12/1『すごろくゲーム、写真のスライド、感謝状授与』 【時間】14:00～15:30【参加者】17名 ●12/2『すごろくゲーム、写真のスライド、感謝状授与』 【時間】14:00～15:10【参加者】18名 ●12/3『コーラス斎王様、写真のスライド、感謝状授与』 【時間】14:00～15:15【参加者】17名 ●12/4『フラダンス様、写真のスライド、感謝状授与』 【時間】14:00～15:15【参加者】17名
12月20日(月)～25日(土)	クリスマス会	ケーキ作り、サンタクロースと写真撮影・プレゼント(クッキー)渡し

(月例行事)お誕生会、リンパマッサージ、講師の先生によるコーラス・音あそび・健康体操・ブリザーブド・生花・太鼓

【5周年祭】感染症対策を行い予定通りに実施する事ができました。12月3日のコーラス斎王様、12月4日のフラダンス様に来ていただきました。

1 4. 施設整備状況

《整備事業》

実施月	整備事業名	税込事業費(円)	リースの有無
6,9,12,3月	浄化槽の維持管理業務	39,600円/年	無
6,9,12,3月	浴槽用ろ過機(ろ過装置、薬注装置)の保守点検	154,000円/年	無
4月	残留塩素計の修理	135,300円	無
6月	ろ過機ろ材交換及び配管洗浄工事	140,800円	無
12月	貯水庫の清掃	38,280円	無
8月、1月	消防機器の保守点検	55,000円	無
12月	浄化槽清掃費	98,000円	無
12月	フロア内のワックス清掃	55,000円	無
2月	貯水庫の水質検査	68,200円	無

*浴槽用のろ過機では、年に4回の保守点検を受けているので、154,000円という設備費がかかりました。さらに今年は残留塩素系が故障し、修理して135,300円必要となりました。

*施設も5年が経過し、機械の故障もみられるようになっていきます。定期的にメンテナンスを行い、少しでも長持ちできるようにしていきたいです。

《物品購入》(1件10万円以上)

検収月	物品名	数量	税込み購入額	リースの有 無
	該当なし			

1 5. 寄付

寄付	寄付者	寄付内容
7月3日	勝利克己様	車(ワゴンR)

16. 事業目標に対する総括

1. 選ばれるデイサービスを目指します。

＊レクリエーションでは、コロナウイルス感染症対策として密にならないように対策し、内容を計画して、実施することができました。最初は皆で試行錯誤しながら考えて、しばらくしからは統一した方法でレクリエーションを実施する事ができました。

＊感染症対策として、消毒の徹底、密の回避などを実施しました。消毒では利用者様が飲食前にはアルコール消毒をし、テーブルやシルバーカーなども定期的に消毒を行いました。密の回避では、密にならないように入浴に費やす時間を増やし、なるべく少人数で入浴を行うようにしました。

2. 情報共有し、「見える化」に取り組みます。

＊朝礼や会議の場での発言は、目標達成とは言い切れませんので、R4年度も引き続き課題としていきたいです。しかし文章で記録を残して、情報発信していくことは皆が意識してできました。当デイサービスの職員同士だけでなく、法人内の職員・外部のケアマネージャー・利用者様やそのご家族などにも漏れがないように情報発信していきたいです。そしてより良いサービスを実施していければと考えています。

＊確認した情報を文章に記録する事は取り組みました。そのために公休の職員でも出勤時には情報を得ることはできました。カンファレンスノートを確認して情報共有する事は、今後も全職員が行うようにしていきたいです。

3. 行事に参加し、交流の機会を持ちます。

＊行事もほとんどが中止となり、交流はできませんでした。近隣住民とも会釈する程度に終わってしまいました。伊勢寺地区のお便りを全職員に回覧することで、伊勢寺地区のことも知っていきたいと思います。

【7】 ケアハウス

1.職種別職員数(R4.3.31 現在)

単位：人

職種	員数			兼務等の状況	採用		退職数	
	常勤	非常勤	(常勤換算)		常勤	非常勤	常勤	非常勤
施設長	1			事務員兼務				
介護職	2							
(管理)栄養士	1	1	(0.4)		1	1		1
生活相談員	1							
宿直専従員		1	(0.1)					
計	5	2			1	1		1

2.利用状況、月別入退所状況（各月末日）

単位：人

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	月平均
利用人員		39	40	39	39	39	40	41	41	42	42	44	45	491	40.9
入所人員	男						2							2	
	女		1					1		2		2	1	7	
退所人員	男	1		1						1				3	
	女	1					1							2	

3.入退所理由

入所直近の状況	人	退所理由	人
在宅	6	死亡による	2
老人保健施設		在宅復帰	
養護老人ホーム		長期入院	1
ケアハウス	1	特養	2
病院	1	他施設	
短期入所継続		その他	
他施設	1		

※退所理由の概況

他施設:なし

4.要介護状況（R4.3.1 現在）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
総合事業	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	16	1.3
要支援1	6	6	7	7	8	8	9	9	9	9	8	8	94	7.8
要支援2	4	4	4	4	3	3	3	2	2	2	3	5	39	3.3
要介護1	9	9	9	9	9	9	9	10	9	9	9	9	109	9.1
要介護2	7	8	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	100	8.3
要介護3	2	2	2	2	2	2	2	1	2	2	2	2	23	1.9
要介護4	2				1	1	1	1	1	1	1	1	10	0.8
要介護5	1												1	0.1
合計	33	31	32	32	32	32	33	33	33	33	33	35	392	32.6

※昨年度に比べると、要介護者は 32.7 人から 32.6 人とはほぼ横ばい。要支援1が 5.3 人から 7.8 人に増加。
要介護2が 6.4 から 8.3 人・要介護 3 の方 1.6 人から 1.9 人にそれぞれ増加した。

5.入居期間状況(R4.3.31 現在)

単位：人

期間	1年未満	1～3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10～15年未満	15年以上	計
男	2	4	1	1	1	0	9
女	7	15	3	6	1	4	36
計	9	19	4	7	2	4	45

※昨年度に比べると1～3年未満 11 名から 19 名に増加。5年以上の方はそれぞれ減少している。

6. 年齢別状況 (R3.3.31 現在)

単位：歳

	男性	女性
最高齢	95歳	95歳
最低齢	77歳	63歳
平均	85.3歳	85.4歳
全体平均	85.4歳	

※平均年齢は昨年度より 0.2 歳上昇。

7. 各種会議

会議名	出席者職名	実施月
職員会議	施設長、課長、栄養士、相談員、ケアワーカー	毎月1回
課題解決会議	同上	毎月1回
処遇会議・ケース会議	同上	毎月1回
身体拘束委員会	同上	毎月1回
入居判定委員会	同上	随時
給食会議	施設長、課長、栄養士、委託業者	毎月1回
PA 会議	施設長、課長	毎月1回
事務会議	施設長	毎月1回
第三者委員会	施設長、相談員	年2回

8. 施設内研修

開催年月日	研修テーマ等	参加職種
4/16,5/22,10/12,11/9	広報委員会	ケアワーカー

9. 施設外研修

	研修名	主催	参加職種
4/16	老施協・全軽協合同研修会（オンライン）	老施協、全軽協	施設長
7/28	〃	〃	〃
1/31	〃	〃	〃

10. 苦情受付状況

受付日	苦情申立者	内 容
1/7	入居者（事故）	居室内で転倒し、腕を裂傷。
1/5	冬場の寒気について	1 F ロビーの温度が 18 度以上がらない。寒いと苦情
3/25	入居者（事故）	自動ドアに挟まり、転倒し、骨折事故。

11. 行事

実施日	行事名	内容・参加者等
4/1	開設記念	入居者に紅白饅頭配る
4/4	御復活昼食会	昼食会・御復活特別メニュー
4/15・22・28・30	買物ツアー	ショッピングセンターマームにて入居予定の方が買い物
5/5	端午の節句	端午の節句メニューとしょうぶ湯
7/19	入居者健康診断	松阪市健診センターより健康診断実施
7/27・28	ビデオ上映会	「浅田家」 上映
8/4	夕涼み会	縁日風の屋台セット ・ プレゼント
9/18	敬老写真撮影	個人記念撮影
9/20	敬老昼食会	敬老の日昼食会
9/28	避難訓練	ケアハウス避難訓練
11/11	紅緑ゲーム大会	ゲームにより入居者同士の交流を図る
11/22	避難訓練	ケアハウス避難訓練
12/2	入居者忘年会	夕食会・景品・職員余興(6 時だよ全員集合)
12/17	コーラスあい発表会	コーラス・劇「サザエさん一家」
12/22	季節風呂	ゆず風呂
12/25	クリスマス昼食会	クリスマス昼食会・クリスマスプレゼント
1/1	元旦昼食会	元旦昼食会・お屠蘇のふるまい
1/1～1/3	正月三が日行事	初春書初め・すごろく・トントン相撲、神経衰弱

1/8	獅子舞訪問	舞の見物
3/18	避難訓練	ケアハウス避難訓練

(月例行事)誕生会、喫茶くつろ木、お楽しみパン、連絡会、清掃デー、各種クラブ、お楽しみパン
慰霊祭御ミサ他

1 2. クラブ活動等

	気まぐれクラブ		創作クラブ		音楽クラブ		頭の体操クラブ		計	
	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員	回数	延人員
4 月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 月	1	4	1	6	1	5	1	4	4	19
6 月	1	5	1	4	1	8	1	4	4	21
7 月	1	7	1	6	1	4	1	6	4	23
8 月	1	6	1	6	1	5	1	4	4	21
9 月	1	6	1	4	1	5	1	7	4	22
10 月	1	4	1	4	1	5	1	3	4	16
11 月	0	0	1	5	1	5	1	8	3	18
12 月	0	0	1	3	1	6	1	7	3	16
1 月	0	0	1	3	1	5	1	5	3	13
2 月	0	0	1	2	1	7	1	3	3	12
3 月	0	0	1	3	1	6	1	3	3	12
合計	6	32	11	46	11	61	11	54	39	193

1 3. 施設整備状況 (1 件 10 万円以上)

実施月	整備事業・物品名	税込事業費 (円)
5/25	① 厨房・たて型冷蔵庫・たて型冷蔵庫	778,800
6/7	② 食堂 LED 交換	283,470
12/10	③ 非常食確保	242,161
1/10	④ 厨房換気扇交換	214,610
1/18	⑤ 污水配管修繕工事	148,500
	計	1,667,541

《整備及び物品購入について、取替え、交換・購入の理由》

- ① 従前の冷蔵、冷凍庫が経年劣化の為、修理が度重なり、全交換する必要が生じた為。
- ② 電力消費が高く、蛍光灯も年々品薄になっている為、LED化をはかった。
- ③ 令和4年5月をもって、消費期限が切れる為。
- ④ 厨房の大型換気扇より異音が生じた。経年劣化の為部品交換は不可の為、後継機を手配。
- ⑤ 2階の配管繋ぎ目より水漏れ。配管の修繕工事を行った

1 4. 事業目標に対する総括

- ・ 令和3年度は年度途中に施設長交代、生活相談員が1名特養へ異動という人事があり、栄養士も1名退職ということで、業務の配分や、方針の見直しなどをせざるを得ない状況であった。利用者様のサービスの質の低下をしない為にも、職員1丸となって取り組んだ1年であったと思う。
- ・ コロナの緊急事態宣言、重点防止期間など国、県の施策の変更により、ケアハウスとしてどうしていくかという方針を利用者様の立場に立って発信できたのではないと思う。まだ感染対策は継続中であるが、不安感や疑念を持たれないように、早目々々に情報発信していきたい。

〔目標の振り返り〕

1. 入居者様の声に耳を傾けます。
 - ・ 月に1度相談員を中心に、サービスの調整、満足度を確認するために利用者様のところに伺い、話を伺った。又、個々に相談にみえた時は職員間で情報を共有し、より良い解決策を話し合いで決めることが出来た。
 - ・ 生活環境、食事等でまだまだ課題は山積しているが、一つ一つより満足頂けるようにしていきたい。
2. 課題の見える化に取り組めます。
 - ・ ひやりはっと記録を振り返り、月に一度検討会を実施することができた。
 - ・ 感染対策においては、連絡会やホワイトボードを活用し、迅速な情報提供と方針の説明を行えた。まだまだコロナは予断を許さない状況なので継続していく。
3. ほっと一息や予防教室、秋祭り等の法人行事に、全職員が参加する機会をもちます。

コロナの影響で中止になった催しもあったが、実施されたものには積極的に参加できた。